

2021 年度 災害時外国人支援サポーター養成講座

受講者募集要項



財団 HP QR コード

1 目的

激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どうことが起こるのか。

新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客の来県が激減しているとはいえ、在住外国人は長期的には増加の傾向にあり、平常時から大規模災害時に備え地域防災力を高める取り組みや必要です。万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立することは喫緊の課題であります。

本講座は、参加者の「防災・減災」に対する知識を深め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指し、被災する外国人をサポートしながら行政や地域住民との橋渡しを担うことができる人材を育成することを目的に実施します。

2 実施場所

実施日によって、実施場所が異なりますのでご注意ください。

- 第 1 回～第 4 回：ZOOM（ウェブ会議システム）
- 第 5 回：沖縄産業支援センター大ホール（那覇市小禄 1831 番地 1）

3 対象者

「島嶼県沖縄の地域防災力の向上」や「災害時外国人支援」に興味がある方（語学力は不問）

- 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。
- 高校生等の学生も受講できますが、「災害時外国人支援サポーター」としての登録（ID の交付）は満 18 歳以上とさせていただきます。

4 開講日時・内容

回	日時	内容
第 1 回	5 月 15 日（土） 8:45～12:15	【講義・演習】災害時外国人支援の課題-多文化共生社会の実現に向けて- 県内に在住する外国人の状況を概観し、なぜ大規模災害時に外国人が何重にも困難に直面するのか、災害時のフェイズごとのポイントを確認する。 【導入】災害時の外国人のニーズと財団の役割 本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。また災害時に外国人からどのようなニーズがあるのか、その中でサポーターとしてできる支援について考える。
第 2 回	5 月 16 日（日） 8:45～12:15	【講義】過去の災禍に学び禍転じて福と為す 名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫氏を講師として招聘し、過去の災禍から得られた教訓や今後起こりうる巨大地震や感染症、強大化する風水害を乗り越えるためにはどうすればよいのか考えることで、島嶼県沖縄の地域防災力向上につなげる。 【報告】災害時多言語支援の展望と課題について-熊本地震の事例から- 熊本地震の事例を通して、外国人支援の拠点である「災害時多言語支援センター」の意義や、運営上の課題に触れ、「災害時外国人支援サポーター」としてどのような役割を担うことができるのか具体的に考察する。 【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー 外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のことばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。

第3回	5月22日(土) 8:45~12:15	【講義】災害時におけるこころのケア-DPAT 医療の現場から-- 災害時はサポーターも被災者となる困難な状況の中で活動を行う可能性を伴う。そのような状況の中で、サポーター自身のこころのセルフケアを東日本大震災時に実際に DPAT 隊員として活動した琉球病院副院長 大鶴 卓氏の活動事例を通して考える。 【講義】サポーターとしてのストレスマネジメント-外国人相談窓口の現場から-- 「災害時外国人支援サポーター」として、外国人を支援する際、被災者との距離感や対応する際の注意点などを講師である(公財)兵庫県国際交流協会スペイン語通訳相談員 村松 紀子氏が経験してきた事例から相談者との距離感や、自身のストレスマネジメントなどについて考える。
第4回	5月23日(日) 8:45~12:15	【講義・基礎演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」 東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、我々が普段使っている日本語のどういう点が外国人にとって難しいのか、実際に演習を通して外国人により「やさしく」伝わる日本語について検討する。
第5回	5月29日(土) 9:00~12:30	【演習】避難所運営ゲーム (HUG 図上訓練) これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら避難所に見立てた体育館から運動場に、被災者を敷地内に安全に配置したり、様々なイベントに対応するなどして机上で実際に避難所を運営する訓練「避難所運営ゲーム (HUG)」に取り組む。訓練後、それぞれのグループの結果を比較し、避難所運営に必要な知識や被災者への対応を振り返る。

*気象災害等により、「特別警報」や「暴風警報」等が発令された場合、講座を中止します。

*講師の都合により、講座の内容を変更する場合があります。

5 「災害時外国人支援サポーター」の認定

全5回の講座を受講された方を、当財団の「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了証と登録証(IDカード)を交付します。(2021年3月現在214名の方が修了登録しています)

6 受講料/ 募集定員 無料/ 40名程度

7 募集期間 2021年3月14日(日) ~ 4月18日(日)

- (1) 申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- (2) **参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。**予めご了承下さい。
- (3) 申し込みの際、参加者全員に自動返信メールにて受講の決定を通知いたします。
(通知が届かない場合、下記お問い合わせ先まで必ずご連絡下さい)

8 個人情報の使用に関する同意のお願い

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像(写真や動画など)を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

9 お問い合わせ

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛(かつら)・大見謝(おおみじゃ)

住所: 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号

電話: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 E-mail: kokusai@oihf.or.jp